



『自己ベスト更新
を目標に世界の
No.1を目指す』

府立農芸高等学校
パワーリフティング部

菅生 桃子さん

(美山町)

昨年、最も印象に残っていることは、世界大会に出場したこと。女子五十六キログラム級で優勝したことで、多くの方にこの競技を知っていただくきっかけになりました。また、たくさんの方に応援していただきとても嬉しかったです。しかし、記録では、自己ベストが出せなかったという心残りがあります。今年はそんな悔いを残さないようにしたいです。まずは南アフリカで行われる世界大会出場を大きな目標として自己ベストをどんどん更新していきたいです。

元気発信 笑顔 「南丹市」

今年の抱負を語っていただきました

『省エネが当たり前の
地域社会
を目指して』

eco レンジャー代表

森 佳子さん

(八木町)



「自分たちの住む町をきれいにしよう」からスタートしたecoレンジャー。地元で始めた活動が、今はゴミ・環境・地球温暖化防止へ広がっています。例えば『白熱電球を省エネ電球に替える』を全国の家が一個、実行すると、自動車約二十万台が出す二酸化炭素と同じ量の削減になります。『たったそれだけ』のところが『それが当たり前』になる地域社会を目指して、活動を進めていきます。

『地域の活力は
農村公園から』

畑郷農園委員長

松尾 敏生さん

(日吉町)



私たちの集落、畑郷には農村公園があり、六十区画の貸し農園と、都市との交流として春には植付祭、秋には収穫祭を開催しております。集客は二百人程度ですが、最近では人数の制限をしなければならぬほどの人気となりました。来られた方は我を忘れて、子どもも大人も農作業に気持ちのよい汗を流され楽しんでおられます。今年も一人でも多くの方に自然に触れてもらい、農業の喜びを味わっていただくよう努めていきます。

土づくりと野菜の味・風味を消費者に提供できる農産物を生産し二十年。直売施設、佐切新鮮組も平成三年の開設から、会員の協力により顔の見える野菜販売に努力しています。また、道の駅京都新光悦村・新鮮野菜市みちの市にもお世話になりながら、加工品の商品化にチャレンジしてきました。今後も南丹市の農産物が消費者の皆さんに喜んでいただけるよう努力していきたいと思っています。

『消費者に
喜んでもらえる
野菜づくりを』

佐切新鮮組

高屋 道子さん

(園部町)

